

ふくろうの会通信

東野幌小学校PTA

NO 7

H29. 10. 23

文責 ふくろうの会

会長 長谷川 伸

校長 高橋 秀明

地域保全会議で中間反省の実施について

10月17日(水)に、CS地域コーディネート部の見守り活動と連携した第2回目の代表者会議が行われました。

今回の話し合いでは、前期を振り返り成果や課題を反省し、後期の活動につなげる目的で実施されました。成果としてあげられたのが、各地区の活動計画が順調に進められており、大きな事故などを未然に防ぐことができたこと、各地区の活動を交流することで、お互いの活動が確認できたこと、今年も夏休みの夜間の見回りが合同でできたこと等、連携を深めることができたことについて確認がされていきました。

また、課題点に関しては、胆振東部地震で起こった全道的な停電で、緊急連絡網が寸断されたことに対して、今後想定される暴風雪などによる臨休時の連絡体制の確認や、積雪による通学路の安全の確保等を、どう進めていくかが上げられていました。災害等における緊急用の連絡については、従来の連絡網と併せて、災害時に強いマチコメメールを使って対応を進めていくことが確認され、冬道の安全確保については、危険箇所を学校と各自治会とが、こまめに連絡し合い、関係機関への協力を要請する中で解決させていくことが確認されました。



第2回地区保全代表者会議の様子

これからの登下校へ向けた準備について！

10月も半ばを過ぎ、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。登下校の様子を見ていると寒さの影響か、マスクをつけている風邪気味の子が増えてきているようです。これからの季節で気にしていきたいのが、子どもたちの深まる秋から冬場に向けた準備です。準備については様々なものが考えられますが、最低でも、次の3つについては、意識させていきたいと思えます。

①早めの登校を習慣化～降雪などにより、足場が不安定となるため、非常に歩きにくくなってきます。早めに登校することができている児童も多く見られますが、時間ギリギリで登校してくる児童も多く、このままでは遅刻してしまう危険性が高いと思われます。最近では寒さのせいで遅くなってきている子も見られるため、早めの登校を心がけさせて欲しいと思えます。

②しっかりした防寒の準備(帽子、手袋、マフラー、冬靴など)～これからの季節で体調を崩す原因の第一にあげられるのが、体を冷やしてしまうこと。家や学校は暖房が完備されているため、登・下校など外に出る時に、特に気をつけさせていきたいところです。帽子やマフラーは身に着けるだけで、肌着一枚分の保温効果があるといわれているため、しっかりと身に付けさせて登校させて欲しいと思えます。

③安全の確認(急な飛び出しの禁止)～日没が早まり暗くなるのが早まってきました。朝の登校時はそれほど気になりませんが、下校時は薄暗くなってきており、車からも子どもたちが見えにくくなってきています。また、もう少し先の話になりますが、雪が降ってくると通学路と車道の間に雪山ができ、見通しが非常に悪くなります。雪遊びの誘惑ももちろん生じてくるため、今まで以上に安全の確認をさせることが必要となってきます。取組については、各家庭と連携を図りながら、指導にあたっていきたいと思えますので、ご協力よろしくお願い致します。

- 早退時、下校時のお迎えについては、部外者との見分けができるように、配付してあるネームプレートを必ず着用してください。
- 次回のふくろうの日は10月29日(月)です。担当は、2年生つくしになっていますので、CS安全担当を中心によりよろしくお願い致します。

ブログにて、東野幌小学校の日常的な活動の様子を発信していますので、是非ご覧下さい。

ブログのアドレス → <http://blog.webone.ne.jp/higasinos>